

### 国際交流センター・バザー“100円市”

4月3, 5, 6日に国際交流センター・バザー“100円市”が開催され、31,500円の収益を上げることができました。このうち国際交流会では、半分の15,750円に国際交流センター室募金箱に集まった2,434円を加えた18,184円をユニセフのソロモン沖地震の被災者へ寄付しました。バザー収益の残り半分は国際交流会の活動資金に充てさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 6月「夏の国際交流月」

「英語で遊ぼう!」をテーマに実施されました。英語を「科目」ではなく「言葉」として、もっと気軽に楽しく使ってみようという試みで「英語豆知識」「Riddles(なぞなぞ)」の掲示と「英語でゲーム」を行いました。



「英語でゲーム」では、町田キャンパス中庭で体を動かすゲームを14日と21日に、国際交流プラザでトランプを使ったゲームを25日に実施し、学生と教員あわせて延べ25名の参加がありました。はじめは、「話せないから」と消極的だった学生も、ゲームに夢中になるうちに自然と英語が口から飛び出し、学生と教員が一緒になって楽しい時間を過ごしました。

### 国際交流会の活動

国際交流会は、異文化理解と交流を目的とした学生の会です。

#### <今年度役員>

会長 邵 美雪(人文学部 日本文化学科2年)  
副会長 高鳥富美子(人文学部 日本文化学科2年)  
書記 齊田 恵(人文学部 日本文化学科2年)  
会計 鄭 承燕(人文学部 文化情報学科2年)

#### <前期の活動>

前期は毎週火曜日の昼休みにミーティング、第一火曜日の5限に交流会(トランプ大会など)をいずれもミーティングルーム(0427)で行いました。

一番大きなイベントは、5月29日(火)の昼休みに国際交流プラザで開催した「お弁当交換会」です。各自が自宅で作ってきたお弁当を持ち寄り、抽選で自



分が食べるお弁当をもらいました。中国、ネパール、日本のお弁当のそれぞれの特徴を初めて知ることができ、16名のにぎやかで楽しい昼食会となりました。

後期も色々なイベントを行っていきたくと思っています。皆さん、是非ご参加下さい。

### アメリカのメル友と会いました!

佐藤麻理恵さん(家政学部 家政学科3年)

私とサブリナは、昨年度の国際交流センターの企画「アメリカの大学生とメール交換しませんか」を通じて知り合い、メール交換を始めました。

彼女は日本にすごく興味があり、日本の歌手や漫画など私がいらないことも知っていました。

メールでは日本の大学とアメリカの大学の違いや趣味や音楽の話などさまざまなことを話しました。共通点も多く、お互いに写真を送りあったりもしていました。そして今年の5月から3ヶ月間、日本に行くとメールに書いてあったのでとても驚きました。私は、いつか会えたらいいなどは思っていました。まさか本当に会えるとは思いませんでした。初めて会うときは、どんな子が緊張しましたが、メールと同じように元気で明るいとても良い子でした。日本語もうまく驚きました。

彼女とは、数回遊びましたがとても楽しかったです。一緒に映画を見に行ったり、彼女はお寿司が大好きなので食べに行ったり、買い物をしたりしました。遊ぶときは英語と日本語で会話をしていたので、二人とも良い練習になりました。

彼女は好奇心旺盛で、遊んでいる最中でも珍しいものを見つけると質問してくるので、私もそれについて調べ、勉強になりました。彼女のおかげで、日本についてあまり知らなかった事にも気づき、調べることでさらに詳しくなることができました。彼女は大学の寮に住んでいたため、日本の家族の生活を体験したいと家に遊びに来てくれました。母の料理がおいしいと感激してくれ、私は書道の免許を持っているので、当て字で「桜吹理奈」と作って書いてあげたらとても喜んでくれました。

彼女は8月に帰ってしまいましたが、日本が大好きなので絶対帰ってくると言っていましたし、今度は私がアメリカに行く約束しました。私はメールから、ここまでの関係になれるとは思っていませんでした。とてもうれしいです。12月に彼女に会いに行くのが楽しみです。





## 英語サロンのお知らせ

英語サロンは、後期も開催されます。申し込みは不要です。お気軽にご参加下さい。  
 日時：月曜日 12:20～12:50 (初回10月1日, 最終回12月17日)  
 場所：国際交流プラザ 担当：マーク・ルイス先生

## 各募集のお知らせ

### ◆言語チューター

中国語、韓国語、日本語を学びたい学生が、それらの言語を母語とする学生と1対1で勉強する制度です。「習う人」の応募資格は、日本語の場合のみ、学部1年生または2年次の留学生に限られます。「教える人」の応募条件は、以下の通りです。

中国語：中国語を母語とする学生

韓国語：韓国語を母語とする学生

日本語：日本語を母語とする日本語教員養成コース履修生、国語科教員免許課程履修生、日本語ゼミ生

### ◆科目チューター

学部1年および2年に在籍する留学生のための制度です。履修科目に困難が生じた際に、同じ科目を履修している(または履修したことがある)学生を科目チューターとして一緒に勉強することができます。

### ◆日本語会話パートナー

日本語を母語とする学生と留学生が、お互いの文化や言語について教え合ったり、興味や趣味について話し合ったり、自由に楽しく交流する制度です。

### ◆アメリカの大学生とメール交換してみませんか？

昨年に引き続き、アメリカの大学生とのメール交換制度を実施します。日本文化学科卒業生・小村直子先生の勤務先である州立Florida International University (フロリダ国際大学)で日本語を学ぶ学生とメール交換をしてみませんか。使用言語は、英語か日本語かを選ぶことができます。昨年申し込んだ方も(昨年のメル友と交流が続いている方も)申し込み可能です。

### 各募集の応募方法

10月2日(火)までに、所定用紙で国際交流センター室へお申し込み下さい。ただし、科目チューターはサポートが必要になった場合にいつでも申し込み可能です。

## 12月「冬の国際交流月」のお知らせ

12月の「冬の国際交流月」のテーマは「外国語でスピーチを！」です。「外国語に自分の感情を込めて伝える」「外国語で自分の考えを伝える」力を高めることを目的として、下記の通り「外国語スピーチ・コンテスト」が開催されます。外国語の力に「今自信がある人」は勿論、「これから上手になりたいと思っている人」にも大きなチャンスです。教員や留学生が指導に当たりますので、一段と飛躍できるこの機会を逃すことなくチャレンジして下さい。入賞者には記念品を贈呈します。

また、当日のスピーチ・コンテストはどなたでもお聴きになれます。多くの方のご参加をお待ちしております。

開催日時：12月15日(土)午後1時より(終了後、授賞式・X'masパーティ)

参加申込み：10月30日(火)までに、所定用紙にて国際交流センター室へ

内容：スピーチ時間各自5分

<第一部> 英語・中国語・韓国語による暗唱大会

参加資格：それぞれの言語を母語としない本学学生

発表内容：指定された文章から選択したものを暗唱する

<第二部> 日本語による弁論大会

参加資格：日本語を母語としない本学学生

発表内容：以下のテーマからひとつ選択しスピーチする

- ① 東京家政学院大学／大学院での学生生活
- ② 日本に暮らして考えたこと
- ③ 日本で出会った大切な人

尚、審査員をつとめる中国語および韓国語を母語とする学生スタッフも募集しています。審査員をつとめることに興味のある方は、10月30日までに国際交流センター室にお申し込み下さい。ただし、スピーチ・コンテストの出場者は不可です。

## 日本語会話パートナーのふるさとに行ってきました！ ～ベトナム・ハノイ～

櫻井彩美さん<家政学部 家政学科3年>

(写真後列右から2番目)

2007年2月13～22日、ベトナムの首都ハノイにある日本文化学科グエン・ティ・ゴック・リンさんのご実家へ、3KA堀井千恵子さん(写真前列右)と共に滞在しました。今回は旧正月の里帰りにあわせての帰省でした。

リンさんは両親、妹のDzungの4人家族でしたが、近くに親戚の方々が住んでいて、友人も含め、毎日誰かしらが訪ねてきました。Dzungや何人かの友人は英語が喋れたので、英語でコミュニケーションを取っていましたが、挨拶などの基本的な言葉はなるべくベトナム語を使うように心がけていました。

私は今まで何カ国が行ったことがありましたが、ベトナムの交通事情にはとても驚かされました。バイクの数がとても多く、排気ガスもすごかったです。2人乗りはもちろん、4人乗りをしている人もいました。

お正月でしか味わうことの出来ない体験もすることができ、世界遺産であるハロン湾をはじめ様々な観光地を訪ねることができました。そしてたくさんの人と交流することの出来た10日間でした。

グエン・ティ・ゴック・リンさん<人文学部 日本文化学科4年>

(写真前列左)

2年ぶりのベトナムへの帰国は、大学の日本人の友達ふたりと一緒にでした。ハノイに到着した時、彩美さん達は“XIN CHAO(こんにちは)”と挨拶して、私の家族にとっても喜ばれました。

着いた次の日は、早速ハノイの36町に行きました。ふたりはベトナムのバイクの数と乗り方に驚き、歩いていても車に乗っていてもスリリングと言っていました。

お正月には、母が代表的な料理「パンチュン」などを色々作ってくれて、大晦日には皆で集まって料理を食べました。ふたりが来てくれて、私達の家族もとても楽しかったです。

元日には、家族揃って、正月の料理を食べた後、神社へお参りに行きました。ふたりが来てくれて、一緒にハノイで遊べて、思い出深い良いお正月でした。



## 国際交流センター地域交流プログラム

### 「中国人留学生による中国語教室」開催

地域住民の方を対象とした国際交流プログラムの第一弾として、10月から本学の中国人留学生による中国語教室が開催されます(全9回)。参加についての詳細は国際交流センター室へお問い合わせ下さい。